

過去最多363社が出展

商談弾んだ大阪勧業展

多業種型総合展示商談会「大阪勧業展2016」が10月19・20日の両日、大阪市中央区のマイドームおおさかで開催、来場者が8000人を超えることもに商談が弾んだ。

同展は、大阪商工会議所・堺商工会議所・大阪府商工連合会が大坂府内すべての商工会議所・商工会と連携して06年から毎年開催されており、今回が11回目。出展は金属、機械・器具、化学・エネルギー、繊維、建設・建材、各種団体など19分野、過去最多363社が出展した。

今回は常連に加え、



坂口製作所が展示したアルミ加工品

インバウンド、ドローン、IoT、ライフサイエンス、地域創成、防災・災害、新電力、防犯・セキュリティなどをキーワードとする、時代に即した出展が特徴となった。

その中で、連続出展を続ける坂口製作所(大阪市西成区)はハイレベルな溶接技術をベースに得意とするアルミ加工のサンプル品を出展。10月、メーンの和歌山工場にフロンニアス社製CMT溶接機2台を導入し、アルミミク溶接のさらなる高品質高品位溶接に対応したことをアピールしていた。

正栄工業(和泉市)はトルンプ製ファイバレーザ加工機(5キロワット)やアマダ製プレスブレーキなどの最先端設備を擁して、とくにアルミ材の曲げ・切断・溶接・塗装の加工に関する技術力をアピール。エスビー(和泉市)は進化する

金属加工のワンストップ対応(設計・製図・加工・溶接・組立・梱包・全国発送)を掲げ、合わせて2次元・3次元レーザ加工機、アイク溶接ロボットなどの保有設備を紹介。

空研(羽曳野市)のシリーズ最軽量・高精度なエアナットランナー「パワートルクセツターPTS-150E 防止捻じ込みタイプの強力衝撃ャックル「TX」、大洋製器工業「SLG」なども注目を(大阪市西区)の脱落 集めていた。

溶接ニュース(平成28年11月15日)